

野津原地域まちづくりビジョンフォローアップ会議通信 第2号

発行：令和3年2月1日 野津原地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

この通信は、地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の目的

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、それぞれの地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取り組みをまとめた「地域まちづくりビジョン」が策定され、平成30年7月に市長に提言されました。

地域まちづくりビジョンフォローアップ会議は、地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政が一緒にまちづくりを進めるため「地域まちづくりビジョン」に掲げる事業について、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれのテーマにおいて、進捗状況を報告し、各取組の今後の進め方や課題などについて情報共有、意見交換を行うものです。

令和2年度野津原地域まちづくりビジョンフォローアップ会議

- 令和2年11月12日(水)18:00～
 - 野津原市民センター 大会議室
- 開会**
1. 委員・事務局自己紹介
 2. 会長・副会長選任
 3. 会長あいさつ
 4. 議事
- (1) 会議の公開について
 - (2) 地域まちづくりビジョン及びビジョンフォローアップ会議について
 - (3) 地域まちづくりビジョン並びにななせダム水源地域ビジョンについての意見交換
 - (4) 過疎地域自立促進計画事業について
 - (5) 今後の予定について
 - 5. その他
- 閉会**

◆地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況 (抜粋)

事務局より野津原地域まちづくりビジョンに掲げる事業の進捗状況を説明し、意見交換を行いました。
※地域まちづくりビジョンの提案事業内容については裏面の概要版をご覧ください。

提言1：ななせダムを核とした地域振興

- 提案事業1 国道442号の朝地までの拡幅
- 提案事業2 スポーツを通じたまちづくり事業
- 提案事業3 ダムの魅力を活かした地域づくり

取組状況

- 国道442号線の朝地までの拡幅については、地元期成会や他都市と連携を図り、引き続き事業主体の県へ要望していく。(地域・行政)
- 「のつはる天空広場」において、Nスポーツクラブ主催の自由参加型イベントを実施。(地域)
- 「大分市産業観光ガイドマップ」において、ななせダムの見学プログラムを紹介するなどダム周辺の観光資源の情報発信に努めている。(行政)
- 民間団体と行政が協力し、ダム湖周辺の植樹や芋掘りイベント等実施。(地域・行政)



主な意見

- 通行の安全性確保や地域発展のためにも一刻も早く国道442号線の整備をして欲しい。
- 地域と行政が連携して天空広場やダム湖周辺を活用したスポーツイベントを継続的に計画・取組を進めることが大切。
- ダム湖や周辺で家族や子どもたちなど多世代が楽しめる企画があると良い。

提言2：地域コミュニティの維持・活性化

- 提案事業4 小学校跡地の利活用(中部・西部・今市)
- 提案事業5 助け合いを実現するやさしい地域づくり

取組状況

- 旧野津原中部小学校の校舎ではアートレジオン事業(芸術家による校舎利用)を実施しており、旧幼稚園舎では地域コミュニティ活動を目的に陶芸教室として活用。(地域・行政)
- 旧野津原西部小学校は地元が望む宿泊可能な施設として整備(R2設計・R3工事)を行い、ダム周辺施設と連携した施設として活用。(行政)
- 超高速ブロードバンド整備事業において、令和元年度に「大字今市、上詰、太田の一部」に光回線の整備を行った。令和2年度以降は、他の未整備地区の整備を行う。(行政)



主な意見

- 旧小学校跡地は民間企業等の誘致も視野に入れ、地域に活気を取り戻すために可能な限り早めの方向性決定が必要。
- 地域活動の担い手の発掘や組織づくりをボランティア団体、NPO、行政、学校などいろいろな団体がアイデアを出し合って取り組むことが必要。

提言3：豊かな自然・文化財を活かした観光の振興

- 提案事業6 観光農園の開発促進事業
- 提案事業7 野津原の桜の名所×ウォーキング×(桜)の特産品
- 提案事業8 ふるさとの旧跡・民話めぐりガイド事業

取組状況

- 観光農園、市民農園及び農産物の直売など都市と農村の交流については、地元の主体的な取り組みを市のHPなどにより積極的に情報発信し、また、これらの取り組みに対してトイレなどの貸出しを行っている。(行政)
- 商工会女性部が大分県商工会連合会の補助金を活用し、桜ソフトの商品開発に取組んでいる。(地域・行政)
- 歴史・文化・産業等をテーマにしたDVD教材を作製して地域や小中学校等で上映し、地域理解を深める機会にしたい。(行政)



桜ソフトのイメージ

主な意見

- ダム湖周辺に観光農園や市民農園を整備して地元の人との交流を図る。
- ダム湖周辺を桜の名所とし、ウォーキングやマラソン大会を継続的に実施し、桜の特産品をたくさん開発して道の駅の名物にして欲しい。
- 小学生ボランティアガイドの育成は旧跡の知識や地元愛着、誇りも深まり将来に活きると思う。



その他のご意見

- 地域でできることは積極的に取り組んでいきたい。
- 取り組みがなかなか進まない、難しいなどの事業について具体的な意見交換をしたい。

野津原地域まちづくりビジョン以外の議題について

- ななせダム水源地域ビジョンの概要及び取り組み状況について説明。
- 過疎地域自立促進計画事業の令和元年度決算見込み及び令和2年度計画事業について説明。

「ふれあい市長室～あなたの地域のまちづくりビジョン」

今年度は、地域まちづくりビジョンに関連した活動を行う団体を対象に開催いたしました。

- 野津原地域の対象団体：「ななせ交流会」
- 開催日：令和2年12月21日(月)
- 内容：団体代表者挨拶、市長挨拶、活動報告、意見交換、市長感想、記念撮影。(団体から15名参加)

■ 問い合わせ：大分市市民部野津原支所 TEL：588-1111

野津原地域まちづくりビジョン概要版

野津原地域の将来像（コンセプト）

ダムに夢を 森といやしの里 のつはる

将来像への思い

高齢化に伴い、高齢者福祉の充実が必要という意見や学校統廃合後の教育環境の問題、基幹産業の農林業の振興、国道442号拡幅問題などの地域課題が山積しています。「ななせダム」や「道の駅」の完成を契機に、自然豊かな野津原をPRし、明るいまちづくりをイメージしてこのコンセプトとしています。

提言1：ななせダムを核とした地域振興

豊かな自然環境に囲まれたななせダムは、野津原地域最大のインフラとしてその魅力を最大限に活用していく必要があります。今後、道の駅登録を目指す「交流拠点」や、野外音楽ステージを設置した多目的広場などのハード間での連携を軸に、マラソンなどの各種スポーツイベントなど、地域に人を呼ぶ仕掛けづくりについての支援を望みます。



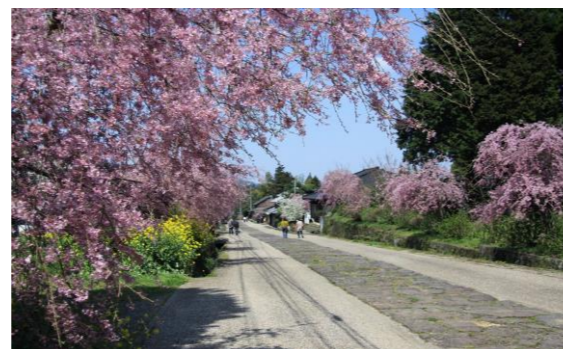
提言2：地域コミュニティの維持・活性化

学校の統廃合をはじめ、脆弱な通信網や公共交通の不便などにより、コミュニティの希薄化が進行するとともに、若者の移住・定住の意欲低下が危惧されます。急速に進む高齢化に歯止めをかけるため、希薄化するコミュニティの維持・活性化を図るための場の創出や、若者を地域に呼び込む取組を望みます。



提言3：豊かな自然・文化財を活かした観光の振興

ななせダムのほか、野津原にある、美しい自然や景観、地域の伝統文化、豊かな食材等、地域の観光資源を活かしたイベントや名産物の開発等を支援することなどにより、魅力あふれる観光地域づくりの推進を望みます。



提言に基づく提案事業一覧（取組内容）

提言1

提案事業1：国道442号の朝地までの拡幅

- ダムや交流施設の建設に伴い、国道442号を拡幅し交流人口の増加を図る。
- 地域においても期成会活動を県に対し引き続き実施する。

提案事業2：スポーツを通じたまちづくり事業

- 災害時の避難所としても利用できる総合体育館を新設する。
- スポーツを通じて人を呼び込み、地域を活性化する。

提案事業3：ダムの魅力を活かした地域づくり

- ダムの魅力を活かしたイベント等を周辺で実施し、人を呼び込むまちづくりを推進する。
- 親子で楽しめるイベント（いも掘りなどの収穫体験事業）
- 健康意識を高めるイベント（ウォーキング、マラソン、健康教室、ラジオ体操など）。
- 年間を通して野津原に来てもらえる企画づくり（集客を増やすには健康食品や季節の食材など「食」を絡める必要）。
- 周回道路におけるさまざまな種類の桜の植樹（地域外の人に桜のオーナーになってもらう）、交流拠点での食事や季節の食材の販売などといった観光面での強化を図り、1日中観光客が楽しめる体制をつくる。

提言2

提案事業4：小学校跡地の利活用（中部・西部・今市）

- 小学校跡地を地域の交流の場として利活用する。
- 小中学生と地域のふれあい活動を実施（校舎は校区公民館として利用）。
- 野津原の多世代交流の促進（子どもから高齢者まで参加できる料理コンテストを実施し、野津原の季節の食材を使った料理やお菓子、我が家自慢のお漬物などを競い合う。優勝作品は交流拠点で販売し、SNSなどで地域外へもPR）。
- 宿泊できる施設として整備を行い、ダム周辺施設と連携し、地域の活性化を図る。

提案事業5：助け合いを実現するやさしい地域づくり

- 様々な分野のボランティア人材バンク制度の創設。
- 野津原の優れた人、物を繋げるコーディネーターの発掘・育成。
- 一人暮らし高齢者などに対する支援（交通・ブロードバンドなど）の充実。
- まちづくりを推進する多様な組織、団体の構築・支援。

提言3

提案事業6：観光農園の開発促進事業

- ぶどう、いちごなどの観光農園や、産品の開発（地域資源を利用）。
- 野津原の一村一品を観光に活かす（にら、いちご、豊の七瀬柿、しいたけ、豊後牛など）。

提案事業7：野津原の桜の名所×ウォーキング×（桜の）特産品

- 桜を活かした野津原の特産品の開発や、バスやウォーキング、マラソンなどで、野津原を巡るイベントを実施する。

提案事業8：ふるさとの旧跡・民話めぐりガイド事業

- 小学生にボランティアガイドとして野津原の旧跡をガイドしてもらう（教育機関との連携）。
- 伝統文化を継承し、地域への愛情と誇りを育むのと同時に、SNSなどで地域資源の情報発信をする。